

令和6年度使用小学校教科用図書  
調査研究結果報告書

生 活



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

# 小 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	生 活
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活
大日本図書(株)	4	大日本	新版 たのしいせいかつ だいすき 新版 たのしいせいかつ ひろがれ
学校図書(株)	11	学 図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ
教育出版(株)	17	教 出	せいかつ みんな なかよし せいかつ なかよし ひろがれ
(社)信州教育出版社	26	信 教	せいかつ あおぞら せいかつ そよかせ
光村図書出版(株)	38	光 村	せいかつ たんけんたい はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい はっけん だいすき
(株)新興出版社啓林館	61	啓林館	わくわく せいかつ いきいき せいかつ

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
生活	2	東書	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>内容の程度はその学年の児童の発達の段階に適切している。</li> <li>学習指導要領に示す教科および学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容および内容の取扱に示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等および各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>体験的な学習や基礎的・基本的な知識および技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の分量は授業時数から見て適切である。</li> <li>学習指導要領の内容及び内容の取扱に示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>内容に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文、問題、説明文、注、資料、作品、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>読みやすさに配慮した教育用UDフォントを使用している。</li> <li>強度と軽さ、写真や挿絵の表現力を兼ね備えた再生紙を使用し、約10%の軽量化を図っている。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な幼児や高齢者、障がいのある児童、外国の人など多様な人々との関わりが、写真や挿絵で示されている。</li> <li>児童一人一人の「もっと知りたい！」に応える650点を超える豊富なQRコンテンツが用意され、個別最適な学び・協働的な学びに対応できるように配慮されている。授業中に活用したり、保護者等と一緒に閲覧したりすることで、メディアリテラシーを含めたICT機器の使い方が身に付くように工夫されている。特に、デジタルいきものずかんでは、実物大の生き物を200種類以上閲覧することができる。</li> <li>植物の成長の様子がひと目で分かるよう、用紙の幅を変えて掲載している。植物の育ちへの興味を喚起し、気付きの質の向上につながるよう工夫している。</li> <li>上巻には観察して気付いたことを表現し、考えるヒントをまとめた「かんさつずかん」や、下巻には気付いたことを整理し、表現する方法を例示した「まとめよう つたえよう」が設けられている。気付きを確かなものとしたり、関連付けたりしていくための気付いたことを表現し、交流する学習活動が発達の段階や特性に応じて適切に掲載されている。</li> <li>安全面、衛生面に関する習慣や技能の指導が必要な活動には「てあらいマーク」や「どうぐマーク」のタブがページ右下についている。</li> <li>具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっており、資質・能力の3つの柱を写真や吹き出しを使った表現作品などで随所に示し、児童の姿を具体的に例示している。</li> </ul>

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
生活	4	大日本	新版 たのしいせいかつ だいすき 新版 たのしいせいかつ ひろがれ

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>内容の程度はその学年の児童の発達の段階に適応している。</li> <li>学習指導要領に示す教科および学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容および内容の取扱に示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等および各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>体験的な学習や基礎的・基本的な知識および技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の分量は授業時数から見て適切である。</li> <li>学習指導要領の内容及び内容の取扱に示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>内容に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文、問題、説明文、注、資料、作品、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字は可読性のよい書体(UDフォント)を使用し、大きさ、分量についても十分に配慮して読みやすく工夫している。</li> <li>用紙は、目の疲れのない上質紙で、軽量かつ強度の高いものを採用している。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者等多様な人々と関わる活動場面を随所に取り入れ、人権意識を育めるよう配慮している。イラストや写真などの男女比に配慮している。</li> <li>ICT機器及びインターネットを活用した活動を想定し、使用場面をイラストや写真で示唆し、児童の学習及び指導に活用できるよう工夫している。ウェブコンテンツは、クイズ要素を取り入れるなど、関心を高めている。「ウェブがくしゅうどうぐばこ」は写真や動画が入っていて充実した内容となっている。</li> <li>活動を振り返り、そこでの気づきを伝え合う活動を充実させ、一人学びから協働的学びへつながるよう工夫されている。</li> <li>豊かな表現力の育成、表現活動の充実のために「せいかつことば」の欄を設けたり、話型提示や話し合う、カードに書く、動作化や劇化など多様な表現方法を例示したりしている。キャラクターや教師の投げかけによるヒント、さらに気づきを共有する場面を適切に設けることで、気づきを関連づけたり深めたりすることができるようにしている。</li> <li>獣医や農業従事者との関わりの中で動物を飼育したり、植物を栽培したりする場面を取り入れ、正しい知識に基づいた活動が行えるよう配慮している。</li> <li>具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっており、「きもちマーク」を設定することで言葉以外でも自己表現・自己評価ができるようになっている。</li> </ul>

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
生活	11	学図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>内容の程度はその学年の児童の発達の段階に適応している。</li> <li>学習指導要領に示す教科および学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容および内容の取扱に示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等および各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>体験的な学習や基礎的・基本的な知識および技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の分量は授業時数から見て適切である。</li> <li>学習指導要領の内容及び内容の取扱に示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>内容に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文、問題、説明文、注、資料、作品、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>A4変形判で、軽量化・軽くて強度の高い用紙が使用されている。</li> <li>多様な色覚をもつ子どもに配慮し、専門家指導のもとカラーユニバーサルの考え方に則った見やすくわかりやすい色使いが工夫されている。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>単元全体を通して、子どもの身近な人々、社会、自然と直接関わる場面が数多く設定されている。また、各単元が長期的に継続した活動として設定されているので、人々や社会、自然といった対象と繰り返し関わり、「気付き」を深めていけるように配慮されているとともに自分自身との関わりで考えられるよう工夫されている。</li> <li>活動を通して、障がいのある人、高齢者、身近な幼児など多様な人々との関わりを大切に扱っている。また、写真やイラストについては男女の比率に偏りが無いよう配慮されている。</li> <li>「ものしりノート」や「ものしり図かん」を掲載し、子どもの関心を引き出している。また、それらの資料とあわせ、QRコードで様々な動画や資料を閲覧できるようにしている。</li> <li>活動を通して得られた子どもの気付きや思いをカード、作文、手紙、劇などの様々な方法で表現できるよう配慮されている。上巻では「みたこと」「きもち」を観点とし表現力の基礎を高め、下巻では「たとえる」「くらべる」を観点に加え、より詳しい書き方を示している。その表現物をもとに身近な人々と伝え合う活動がなされるよう配慮している。</li> <li>各単元において「やくそく」「ものしりノート」などのコーナーとして示し、活動や体験の中で子どもの思いや願いを実現する過程において身に付けられるようにしている。</li> <li>具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっており、単元のストーリーを大切にした構成で学習活動がより根付くように上下巻末には「学び方図鑑」を掲載している。</li> </ul>

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
生活	1 7	教出	せいかつ みんな なかよし せいかつ なかよし ひろがれ

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>内容の程度はその学年の児童の発達の段階に適応している。</li> <li>学習指導要領に示す教科および学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容および内容の取扱に示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等および各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>体験的な学習や基礎的・基本的な知識および技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の分量は授業時数から見て適切である。</li> <li>学習指導要領の内容及び内容の取扱に示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>内容に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文、問題、説明文、注、資料、作品、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>UDフォントで、検証が厳しいCUDマークを取得し、色覚等の特性に十分に配慮している。</li> <li>A4判を採用し、白色度の高い、裏映りをしない軽い紙が使用され、児童の負担が少なくなっている。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人々、幼児や高齢者など多様な人々と交流する単元が設けられ、相手の立場に立って、伝えたいことが伝わるようにする活動が豊富に例示されている。</li> <li>「まなびリンク」には、図鑑、ワークシート、学び方を示した動画があり、個別最適な学びや協働的な学びができる工夫がなされている。デジタルずかんでは、100種類以上の動植物を検索でき、鮮明な写真で子どもたちの興味や関心を引きつける工夫をしている。</li> <li>学ぶ楽しさを「見える化」した、使って学ぶ教科書となっている。生活科を中心に教科の枠を外した「スタートカリキュラム」で、幼児期からの学びを小学校へとつなげることができるようにしている。</li> <li>言葉、絵、動作、劇化など友達との協働的な表現方法が豊富に例示されている。各単元に振り返りの活動「なにを かんじたかな」が設けられ、熱中し、没頭したことを表現したり友達と交流し認め合ったり、振り返って捉え直したりすることを繰り返す中で、気づきを確かなものにし、関連付けたりすることができるようになっている。</li> <li>具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっており、各単元にはコラム「ヒント」が設けられ、学習活動を繰り返し行えるようになっている。</li> </ul>

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
生活	26	信教	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>内容の程度はその学年の児童の発達の段階に適応している。</li> <li>学習指導要領に示す教科および学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容および内容の取扱に示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等および各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>体験的な学習や基礎的・基本的な知識および技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の分量は授業時数から見て適切である。</li> <li>学習指導要領の内容及び内容の取扱に示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>内容に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文、問題、説明文、注、資料、作品、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生紙を用い、植物油インキを使用している。</li> <li>必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られている。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動や校外での活動を取り入れた内容になっている。</li> <li>教科書の内容と関連する動物や植物、活動例等の図鑑的資料をより充実させて、それを閲覧できるURL・二次元コードを「あおぞら・そよかぜずかん」として目次に示すことで、図鑑的要素を多数盛り込んでいる。</li> <li>地域に根差した人・もの・こととの関わりや触れ合い、交流を通して、様々な学びを深めていく単元展開になるように配慮されている。</li> <li>活動の節々における「感動体験」、試す・確かめるなどの「探究活動」、自らの体験を見返し味わう「表現活動」(詩的表現、学習カード、歌、絵、粘土など)を多様に示し、より深い学びや活動につながるよう、友達同士の学び合いや情報交換の場を位置づけている。</li> <li>各単元でのふりかえりの場面を大事にし、子どもが自分や友達の生活・地域との関わりなどを通して、自分の成長に気付くことができるようにしている。</li> <li>動物飼育に関わっては、学校や学校の実態、地域の実態に応じて選択肢がもてるよう、複数の生き物を提示するとともに、飼育活動のまとめとして、その生き物に関わる様々な学習の収束や「別れ」も大事に考え、関係する活動を示すとともに、感動表現も取り入れている。</li> </ul>

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
生活	3 8	光村	せいかつ たんけんたい はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい はっけん だいすき

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>内容の程度はその学年の児童の発達の段階に適応している。</li> <li>学習指導要領に示す教科および学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容および内容の取扱に示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等および各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>体験的な学習や基礎的・基本的な知識および技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の分量は授業時数から見て適切である。</li> <li>学習指導要領の内容及び内容の取扱に示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>内容に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文、問題、説明文、注、資料、作品、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に負荷の少ない用紙を用い、エコマーク認定の植物油インキで印刷されている。</li> <li>子ども達一人一人が、学びや授業の進み方に合わせて活用できるよう、見やすく充実した資料が別冊にして付属している。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な幼児や高齢者、障がいのある人との交流などをいっそう重視し、多様な人々との関わりのきっかけとなるよう、必然性をもって写真やイラストで示されている。</li> <li>紙面のQRコードを読み取ることで、安全面、衛生面に関する習慣や技能の動画を確認することができるよう工夫されている。また、ICT 機器の適切な使用方法や日常生活で必要な習慣や技能について、別冊「ひろがる せいかつ じてん」にまとめられているほか、QRコードコンテンツにも収録されている。</li> <li>発表、対話、絵、文章、観察カード、手紙、ポスター、クイズ、動作化、劇化、絵地図など児童の発達段階や活動内容に合った多様な表現方法が示されている。単元末の振り返りページではまず対話の中で振り返ることで獲得した学びを言語化し、次に個人で振り返りまとめることで、気付きを自覚したり捉え直したりできるようになっている。</li> <li>日常生活で必要な習慣や技能は学習活動の中で自然と身に付くように位置付けられているほか、上下巻ともに別冊「ひろがる せいかつ じてん」にまとめられており、必要に応じて持ち歩いたり、確認したりしやすいようにしている。</li> <li>具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動が、児童の姿や言葉で随所に取り入れられた内容になっており、六角形で囲まれて示された学び方の「ヒント」が児童の学習の手立てになっている。</li> </ul>



教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
生活	6 1	啓林館	わくわく せいかつ いきいき せいかつ

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>内容の程度はその学年の児童の発達の段階に適応している。</li> <li>学習指導要領に示す教科および学年の目標に従い、学習指導要領に示す教科、学年、領域の内容および内容の取扱に示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等および各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>体験的な学習や基礎的・基本的な知識および技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の分量は授業時数から見て適切である。</li> <li>学習指導要領の内容及び内容の取扱に示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>内容に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文、問題、説明文、注、資料、作品、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年児童に取り扱いのしやすいAB版を使用し、白色度の高い用紙に鮮明で美しく印刷されている。</li> <li>製本は、開きやすく紙面が広く見えることに配慮している。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児や高齢者、外国の人、障がいのある方など多様な人々と分け隔てなく関わるようすが写真やイラストで示されており、誰もが住みやすい社会を目指そうとする意識が自然に芽生えるように工夫されている。</li> <li>教科書紙面にタブレット端末や電子黒板などの ICT 機器を活用した学習活動の例を掲載し、教室外の体験と教室内の学びを一体化できるように工夫している。児童の「もっと知りたい」という意欲に応え、「生き物図鑑」「調理方法」「防災図鑑」など豊富な資料を電子ブック形式のデジタルたんけんブックで閲覧できるようにしている。アサガオの発芽やチョウの羽化、セミの声など、動画や音声のコンテンツが充実している。</li> <li>言葉、絵、動作、劇化、ICT活用など、多様な表現活動や交流活動が掲載されており、思考と表現が一体的に繰り返され、豊かな表現力が身に付くようになっている。「めぐり言葉」には「次はこうしたい」「もっとこうしたい」という児童の思いや願いが例示されており、これらが繰り返されることで児童の気付きの質が高まるようにしている。</li> <li>「こんなときどうしよう」や「学びのヒント」コーナーなどで、基本的な生活習慣や生活技能、健康や安全に関する知識が着実に身に付くようにしている。</li> <li>具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっており、「わくわく」→「いきいき」→「ぐんぐん」の三段階構成となっている。また、学びのキーワードとしてマークが付されており、児童にとっては思考を深めるヒントとなるよう工夫されている。</li> </ul>